

お茶の水女子大学へフランスから交換留学した学生

ストラスブール大学

フレス・リヴィア

2490064



昨年の九月末、日本にやって来た時には、蒸し暑さに迎えられました。そして旅立ちの今、セミの鳴き声に見送られます。

九月の終わりに、日本の蒸し暑さが私を迎えてくれましたが、今回はセミの鳴き声に見送られながら帰国します。

この一年間、お茶大ではたくさんの方のことを学びましたが、それ以上に大切な思い出を胸に帰国します。秋の紅葉や春の花見はもちろんですが、旅行をするきっかけにも恵まれました。この留学のおかげで、北海道に行くことができ、雪が山に積もり、流氷が海岸に向けて波に運ばれた景色を見ることができました。また、京都の歴史ある町並み、奈良にいた少し気の短い鹿の姿、江ノ島の美しい海のこと、忘れることはないでしょう。

友達に伝えたい言葉もたくさんあります。ゼイネプへ、最初に来た時、買い物ツアーに誘ってくれて、とても感謝しています。イズィへ、様々なイベントに誘ってくれたり、共通の話題について喋ってくれたり、京都と奈良への旅行に勇気を出してくれて、とても感謝しています。前学期、タンデムと一緒にした理子さんへ、私に日本の文化を教えてくれて、日本語で会話してくれて感謝しています。フランス語カフェの皆にもとても感謝していて、もしきっかけがあれば、今度はフランスでお会いしましょう！



この留学の最大の目的は、修士論文を書くことでした。そのため、私の指導教員である石丸先生には、私を辛抱強く支えてくださり、心から感謝しています。チューターである出水さんにも、私の研究を支え、手助けしてくれたり、さらには気づかぬうちに自信を与えてくれたこと、とても感謝しています。

音羽館の管理人の方へ、いつもゆっくり説明してくれたり、手伝ってくれて、本当にありがとうございました。最後に、市原先生と国際センターの皆様へ、時にご

迷惑をおかけすることもあったかもしれませんが、寛容にご対応していただき、感謝している気持ちをお伝えしたく思います。

夏休みに日本にまだ滞在する交換留学生の皆さんへ、休暇を楽しんでください。後期も日本に残る交換留学生の皆さんへ、勉強も頑張りつつ、ぜひできるだけ皆さんの思い出を日本で作ってみてください。